

堺道計第 1240 号
平成 20 年 10 月 17 日

国土交通省道路局長 様

堺市長 木原 敬介



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成 20 年 9 月 19 日付け、国道企第 3 7 号にて依頼のありました件につきまして、別添のとおり回答します。

記

1. 回答内容：様式① ①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など
様式② ②－1 地域の現状と抱える課題
様式③ ②－2 地域の目指すべき将来像
様式④ ③道路施策の重点事項
2. 担当課：堺市 建設局 道路部 道路計画課 計画係

【 要 望 】

本市においては、近畿圏の拠点都市として求心力を高めるとともに、圏域内の各都市との有機的な連携を図るため、大阪都市再生環状道路である阪神高速道路大和川線や南海本線連続立体交差事業に取り組んでいる。

これらに加え、ＬＲＴの整備や歩道の整備、街路の整備など、道路政策課題に円滑に取り組むことが必要である。

このため、本年５月１３日に閣議決定された「道路特定財源等に関する基本方針」において、道路特定財源の一般財源化が示されているが、真に必要な道路整備の着実な推進のため、以下のことについて要望する。

- ◆新たな中期計画の策定にあたっては、都市における道路整備の実情を踏まえるとともに、必要な道路整備が計画的かつ確実に推進できるよう、安定かつ十分な財源の確保と制度の構築に努めること。
- ◆地方のニーズに弾力的に応えられる地方道路整備臨時交付金制度や道路開発資金制度の存続・拡充を図ること。

②－１ 地域の現状と抱える課題

大阪府堺市

○現状

１．都市計画道路の整備状況

都市計画道路の整備率は約 70% (H20.3 末現在) であるが、東西方向や都心を中心とした環状方向など未整備の道路が多い。

２．渋滞状況

幹線道路を中心に特定区間の特定時間帯で渋滞が発生。

３．事故の発生状況

交通事故の発生件数、負傷者数は減少傾向にあるが、交通社会を取り巻く環境は、依然として厳しい。

４．自動車交通の環境への影響

窒素酸化物などの環境汚染物質は、各観測点で環境基準を達成しており、今後も環境基準の達成を維持していく必要がある。

５．耐震化の状況

緊急交通路等における橋梁の耐震化率は約 25% (H20.3 末現在) であり、耐震ネットワークの機能が十分に確保されていない。

６．バリアフリー化の状況

バリアフリー化は 14 地区で計画を策定し事業中。

７．にぎわいの道路空間

都心や観光地などで、にぎわいや回遊性向上のための道路空間整備が求められる。

８．道路施設の維持

高度成長期に整備された大量の道路施設の更新時期を迎える。

○課題

１．道路ネットワークの形成

未整備の 4 車線道路の整備と中心とした、都市軸の強化

２．渋滞対策

幹線道路における渋滞箇所や開かずの踏み切り対策

３．交通安全対策

通学路における交通安全対策

４．環境対策

自動車走行環境の改善や自動車交通量削減による環境対策

５．防災・減災対策

緊急交通路等における橋梁の耐震化や防災空間としての道路整備

６．バリアフリー化の推進

重点整備地区を中心とした更なるバリアフリー化

７．にぎわいを演出する道路環境づくり

地域と協働した道路空間の再配分による道路の機能強化

８．良好な道路施設の保全

計画的な維持補修や、長寿命化など戦略的な取組

“まちを変える”“くらしを変える”“市政を変える”

新しい自由都市・堺 ルネサンス

政令指定都市・堺においては、先人の「進取の気風」「自由と自治」の精神を受け継ぎ、輝かしい歴史と伝統を基礎として、個性、創造性、先進性をもったオンリーワンのまちを築き、堺の未来を切り拓く活力と魅力に溢れる、世界に開かれた「新しい自由都市・堺」としての再生―ルネサンス―に取り組む。

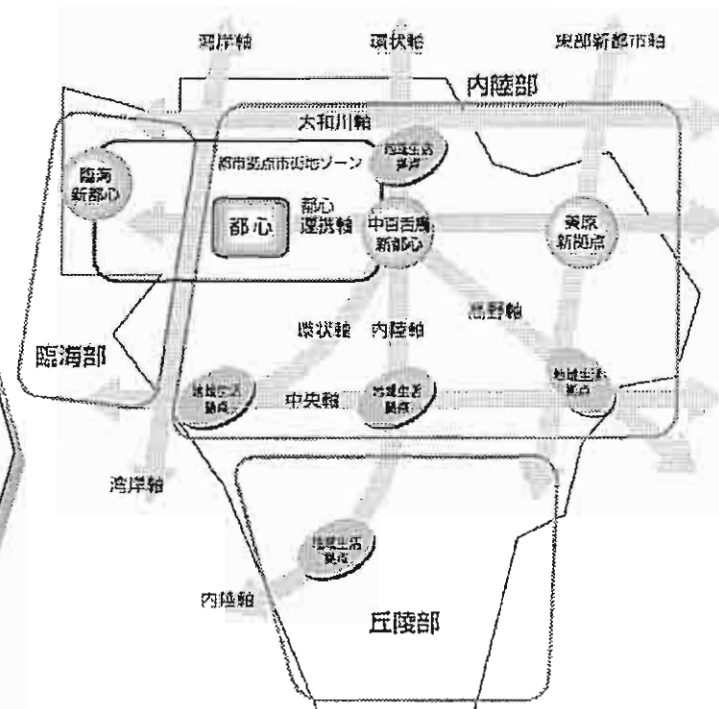
「まちづくりや市政に取り組む基本視点」

- ◆都市の魅力や活力を高め、近畿圏の拠点都市として発展する
- ◆「自由と自治」の伝統を活かし、公民協働により市民自治を実践する
- ◆時代の変革に対応できる持続的な都市経営基盤を確立する

目指すべき都市構造

【道路整備の方向】

- 元気で活力あふれる都市を支える道路整備
道路ネットワークの強化により、拠点相互や周辺都市との間を結ぶ都市軸を強化し、都市の骨格を形成する。
- 豊かで安心できる暮らしを支える道路整備
狭あい道路の解消や通学路の安全確保など、身近な生活道路の環境改善を図る。
- まちの魅力とにぎわいを支える道路整備
都市拠点や地域生活拠点などにおいて、地域と協働し、道路空間の再配分等により、地域に応じた道路機能の充実を図る。



今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

様式 ④

大阪府堺市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他 （課題との関係）
▽交通環境の整備・改善	・ 阪神高速道路大和川線の整備 ・ 主要幹線道路ネットワークの形成 ・ 公共交通（LRT）の整備 ・ 開かずの踏み切り対策（連続立体交差事業） ・ 自転車走行空間の確保	・ 走行時間短縮による経済効果及び CO2 削減効果 ・ 近隣主要都市との連携強化による都市の活性化 評価指標 → 走行時間短縮、CO2 削減量	1, 2, 3, 4
▽安全・安心が確保された都市づくり	・ 緊急交通路における橋梁耐震補強 ・ バリアフリーなど交通安全事業の推進 ・ 通学路における交通安全施設整備	・ 緊急交通路の確保による、災害時の救助救援活動の円滑化 ・ 高齢者、障害者等の移動上の安全性及び利便性の向上 評価指標 → 緊急交通路の耐震化率	1, 5, 6
▽既存の道路、道路施設の活用	・ 渋滞ポイントにおける交差点改良 ・ 道路構造物の長寿命化	・ 走行時間短縮による経済効果及び CO2 削減効果（再掲）	4, 8
▽魅力ある道路空間の創出	・ 道路空間の再配分による地域に適した道路整備 ・ 地域との協働	・ 既存ストックの活用によるコスト削減 評価指標 → コスト削減量 評価指標 → 来街者数の増加	7
		・ 地域のにぎわいの創出	